

雨の季節、水害のリスクを知ろう!



その日…あなたの自宅は大丈夫?

令和元年東日本台風(台風第19号)は県内でも大きな被害が出ました。今夏も豪雨によって甚大な被害が各地で発生しています。

水害を「我が事」と考え、まずはあなたが暮らす地域の洪水リスクを知り、避難先や取るべき行動などを家庭や職場で普段から話し合っておきましょう。今回は地域の洪水リスクを知る方法や避難行動を時系列で決めておく「マイ・タイムライン」について紹介します。

ハザードマップで自宅周辺の災害リスクを知ろう!

自宅の周辺地域にどんな災害リスクがあるかご存知ですか。洪水や土砂災害だけではなく、内水はん濫などが想定されている箇所もあり、地域を流れる小さな河川の排水能力を超える降雨があった場合には浸水するリスクもあります。

「わがまちハザードマップ」では、市町村が公開している様々なハザードマップを入手することができます。

スマホからも利用できるので、ぜひ一度確認してみてください。

わがまちハザードマップで 検索



羽根倉橋付近から見た荒川左岸、さいたま新都心方面。河川敷の運動場などは全て荒川の増水によって水没した(2019年10月13日午前9時半ごろ埼玉新聞撮影)

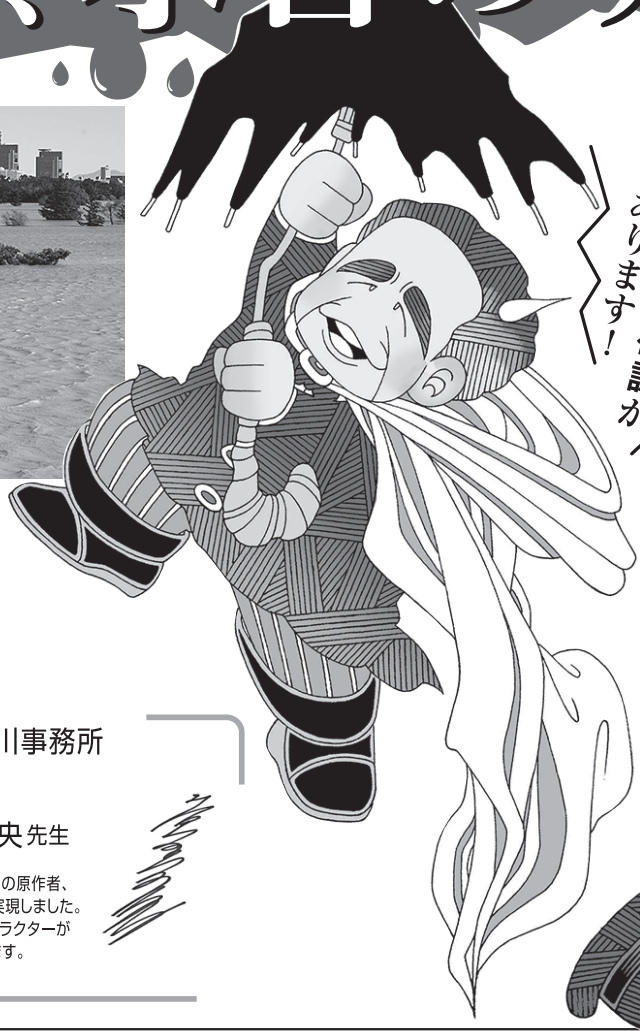


荒川上流河川事務所



漫画家 魔夜峰央先生

大ヒット映画「翔んで埼玉」の原作者、魔夜峰央先生とのコラボが実現しました。魔夜先生描き下ろしのキャラクターが荒川の今を紹介します。



ハザードマップの確認が肝要であります!



荒川の堤防が決壊! 浸水はどう広がる? 「浸水ナビ」でシミュレートできます!



浸水リスクが分かるサイト「浸水ナビ」。浸水の広がりや時間経過とともに分かります

浸水ナビで 検索



もし、自宅近くの荒川堤防が決壊したら…

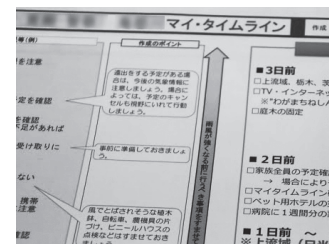
「浸水ナビ」では、川の堤防の決壊によって浸水エリアが時間の経過とともにどう広がっていくかをシミュレートできます。また、浸水エリアにおいて、時間の経過とともに変化する浸水の深さや浸水が継続する時間をアニメーションで確認できます。自宅や学校、会社周辺の浸水リスクを確認し、マイ・タイムラインの作成、避難行動、水防活動に役立ててください。

命を守るための事前行動計画 「マイ・タイムライン」を作成しよう!

「マイ・タイムライン」は、台風の接近によって河川の水位が上昇すると予測されるとき、自分自身がいつ、どのような行動をとるかをあらかじめ決めておく、いわば防災スケジュール表です。

洪水が発生すれば、短い時間で適切な判断に迫られます。マイ・タイムラインを行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用することで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されています。

Webでマイ・タイムラインで 検索



台風が近づく前から避難するまでの行動を時系列で計画します

